



支部だより

第 79 号

編集・発行

〒464-0039

名古屋市千種区日和町2-18

名古屋地方気象台内

日本気象学会中部支部

電話 052-751-5124

2015.05.23

目次

・ 2015 年度（平成 27 年度）の始まりにあたって	1
・ 2015 年度（平成 27 年度）中部支部総会のお知らせ	2
・ 議案(1)：2014 年度（平成 26 年度）中部支部事業報告	2
・ 議案(2)：2014 年度（平成 26 年度）中部支部会計報告	4
・ 議案(3)：2014 年度（平成 26 年度）中部支部会計監査報告	5
・ 議案(4)：2015 年度（平成 27 年度）中部支部事業計画案	6
・ 議案(5)：2015 年度（平成 27 年度）中部支部予算案	7
・ 中部支部第 21 期役員の補充	8
・ 第 20 回公開気象講座のお知らせ	9
・ 平成 27 年度支部研究会のお知らせ	9

◆ 2015 年度（平成 27 年度）の始まりにあたって

日本気象学会中部支部長 内田 裕之

ご挨拶が遅くなりましたが、昨年 7 月から支部長を仰せつかりました。会員各位のご協力をいただきながら、中部支部の発展のため、微力ではございますが尽くす所存ですので、今後ともよろしく願いいたします。

さて、昨年は、バックビルディング現象による広島県の大雨で、大規模な土砂災害が発生しました。気象庁のアメダスによる観測で 1 時間雨量 50 ミリを越える非常に激しい雨が全国的に増加するなど、近年は、雨の降り方が局地化・集中化・劇甚化していると言われています。気象災害を防止するために、個人のレベルから国のレベルまでの関係する各機関が連携して対応することが求められており、気象学会としては、局地的な大雨に関する観測技術の改善・開発、現象の解明、予測精度の向上などが求められるところだと思います。当然のことですが、気象に関する研究成果等は防災だけではなく経済など幅広い社会活動に活かされており、会員各位の研究や講演など様々な活動をさらに活発に行っていたくことが、公益社団法人として社会からの期待にこたえるもので、社会貢献にもつながるものだと思います。

中部支部は全国的に見て規模の小さな支部ではありますが、公開講座、支部研究会、サイエンスカフェなど、会員各位の協力のもと地道な活動を行っています。今年度も引き続きこれらの事業を行うことで、皆様の活動の一助になればと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。また、来年は気象学会秋季大会が名古屋で開催されることに

なっており、今年からそれに向けた準備作業を始めなければなりません。会員各位の一層のご協力をお願いいたします。

◆ 2015 年度（平成 27 年度）中部支部総会のお知らせ

1. 日時：2015 年（平成 27 年）7 月 10 日（金）16 時 00 分から
2. 場所：名古屋地方気象台会議室
3. 総会次第
 - 1) 開会の辞
 - 2) 支部長挨拶
 - 3) 議長選出
 - 4) 委任状及び出席者報告
 - 5) 議案
 - (1) 2014 年度（平成 26 年度）中部支部事業報告
 - (2) 2014 年度（平成 26 年度）中部支部会計報告
 - (3) 2014 年度（平成 26 年度）中部支部会計監査報告
 - (4) 2015 年度（平成 27 年度）中部支部事業計画案
 - (5) 2015 年度（平成 27 年度）中部支部予算案議案の番号は総会参加票に示された番号です。
議案の詳細は以下に示します。

◆ 議案

議案（1）2014 年度（平成 26 年度）中部支部事業報告

- 5 月 16 日：2014 年度第 1 回常任理事会を開催し、役員補充を行ったほか、平成 25 年度事業報告・会計報告・会計監査報告、平成 26 年度事業計画・予算案などを議論し、計画案を決定しました。
- 5 月 23 日：支部だより第 77 号を発行しました。第 20 役員補充、支部総会の案内、議案、公開気象講座の開催計画、支部研究会の案内。第 21 期役員選挙告示などを掲載しました。
- 6 月 25 日：第 21 期中部支部役員選挙を実施しました。
- 7 月 4 日：支部理事会および支部総会を開催しました。昨年度の事業報告、決算報告、会計監査報告および今年度の事業計画案、予算案について審議しました。また、6 月に実施する第 21 期役員選挙結果を報告しました。
- 8 月 30 日：第 19 回公開気象講座「異常気象、実は海が決めていた！」を名古屋大学 ES 総合館 ES ホールにおいて開催しました。内田支部長の挨拶のあと、本田明治氏（新潟大学）から「北極海の海洋・海氷変化と日本の気象への影響」、前田修平氏（気象庁）から「エルニーニョ/ラニーニャ現象とその影響」、立花義裕氏（三重大学）から「日本周辺の海が異常気象に及ぼす影響」について講演して頂きました。参加者は 79 名でした。
- 10 月 11 日：気象サイエンスカフェ in 名古屋（第 7 回）をナディアパーク 7th café において開催しました。講師に近藤ひろ子氏（名古屋大学）をお招きし、「命の学習

としての防災学習」について講演して頂きました。

11月1日：気象サイエンスカフェ in 松本をあがたの森文化会館において開催しました。平松晋也氏（信州大学）を講師にお招きし、「土石流のメカニズムと防災」について講演して頂きました。

11月10日：支部だより第78号を発行しました。内容は、支部総会の報告、公開気象講座の報告、および中部支部研究会の案内とプログラムを掲載しました。

11月27日~28日：2014年度の支部研究会を名古屋地方気象台会議室で開催しました。19件の研究発表がありました。

2015年3月22日：気象サイエンスカフェ in 名古屋（第8回）をナディアパーク 7th caféで開催しました。上田博氏（名古屋大学）を講師にお招きし、「最新の気象レーダで何が観測でき、将来の気象レーダで極端気象の予測はどこまで可能か」について講演して頂きました。

議案 (2) 2014 年度 (平成 26 年度) 中部支部会計報告

2014 年度の中部支部収支決算書は以下のとおりです。

平成 26 年度収支決算書

2014年度 (平成26年度) 中部支部予算と実行額 (2014年4月1日～2015年3月31日)				単位:円
	予算額	実行額	残額	備考
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	705,200	705,200		
公開講座補助金	100,000	100,000		
事業収入				
公開講座参加費	30,000	35,500		500円×71名
過去テキスト販売		16,200		300円×34部 500円×12部
支部研究会要旨集販売		0		
雑収入				
預金利子	200	151		
その他	0			
事業活動収入計(1)	835,400	857,051	-21,651	
II 支出の部				
事業活動支出 (事業費支出)				
支部だより	125,000	115,180	9,820	No77、No78
支部だより印刷費	50,000	50,000	0	
支部だより編集費	0	0	0	
支部だより発送費	75,000	65,180	9,820	
ホームページ運営費	30,000	40,572	-10,572	
サーバー借料	30,000	40,572	-10,572	4～11月分
公開講座開催費(シンポジウム)	300,000	414,885	-114,885	
会場費	30,000	31,836	-1,836	名大ESホール (8/30)
運営費(印刷費含む)	200,000	302,689	-102,689	労務費、運搬費、発送費、お茶代、振り込み手数料を含む
講師謝金・旅費	70,000	80,360	-10,360	
シンポジウム参加・旅費	0	0	0	
支部研究会開催費	430,000	291,184	138,816	
会場費	30,000	0	30,000	名古屋地方気象台
運営費	50,000	864	49,136	振り込み手数料を含む
要旨集印刷費	220,000	155,000	65,000	350部
参加旅費	130,000	135,320	-5,320	
その他事業費	0	0	0	
(管理費支出)				
総会・理事会費	53,000	57,520	-4,520	
総会資料印刷費	20,000	22,800	-2,800	ハガキ印刷費
理事会開催費	3,000	1,900	1,100	
理事会交通費	30,000	32,820	-2,820	
役員選挙費	78,000	74,001	3,999	
選挙公報・投票用紙印刷・発送費	75,000	71,001	3,999	
選挙管理委員会費	3,000	3,000	0	
事務費	160,000	2,322	157,678	
通信運搬費	5,000	2,322	2,678	切手代
消耗品費	5,000	0	5,000	
労務費	0	0	0	
その他支出 設備費	150,000	0	150,000	
事業活動支出計(2)	1,176,000	995,664	180,336	
III 予備費	0		0	
予備費支出計(3)	6,573		6,573	
当期収支差額(A) = (1)-(2)-(3)	-347,173	-138,613		
前期繰越収支差額(B)	347,173	347,173		
次期繰越収支差額(A)+(B)	0	208,560		

平成 26 年度支部強化基金 収支予算書と実行額は以下のとおりです。

(2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日)

単位:円

2014年度(平成26年度)支部強化基金 収支予算書と実行額 (2014年4月1日～2015年3月31日)				単位:円	
	予算額	実行額	残額		備考
I 収入の部					
事業活動収入					
本部交付金	152,000	152,000	0		
地区研究会等への支援	50,000	50,000	0		
サイエンスカフェ	102,000	102,000	0		
事業活動収入計(1)	152,000	152,000	0		
II 支出の部					
事業活動支出					
事業費支出					
地区研究会等への支援	50,000	0	50,000		
交通費	40,000	0	40,000		
宿泊費	10,000	0	10,000		
サイエンスカフェ	102,000	43,640	58,360		
1) 東海地区内(2回)	36,000	25,844	10,156		
チラシ・資料印刷	6,000	3,588	2,412		10/11,3/22名古屋市
講師謝金	20,000	20,000	0		
講師交通費	10,000	2,256	7,744		振り込み手数料を含む
2) 中部支部内(1回)	66,000	17,796	48,204		
チラシ・資料印刷	6,000	3,060	2,940		11/1松本市会場費
講師謝金	20,000	10,000	10,000		
講師交通費	40,000	4,736	35,264		振り込み手数料を含む
事業活動支出計(2)	152,000	43,640	108,360		
III 予備費支出					
予備費支出計(3)					
当期収支差額(A) = (1)-(2)-(3)	0	108,360			

議案(3) 2014年度(平成26年度)中部支部会計監査報告

2014年度中部支部会計報告について、榎野会計監査より適正に処理されている旨の報告がありました。

会計監査を行った結果、適法に処理されていたことを認めます。

平成 27 年 3 月 26 日

会計監査員

榎野泰夫 

議案(4) 2015年度(平成27年度)中部支部事業計画案

- 5月11日 2015年度第1回常任理事会を開催します(第21期役員補充、平成26年度(2014年度)事業報告・会計報告・会計監査報告、平成27年度(2015年度)事業計画・予算案など)。
- 5月下旬 支部だより第79号を発行します。内容は、支部長挨拶、第21期役員補充、支部総会の案内、議案、公開気象講座の開催計画、支部研究会の案内です。
- 7月10日 支部理事会および支部総会を開催します。
- 8月22日 第20回公開気象講座を開催します。テーマは「ヒートアイランド(仮題)」で8月22日(土)に名古屋大学ES総合館ESホールで開催する予定です。
- 11月上旬 支部だより第80号を発行します。支部総会の報告、公開気象講座(※)の報告、および中部支部研究会の案内とプログラムを掲載する予定です。
- 11月24日 2015年度支部研究会を東海大学清水キャンパスにおいて開催します。
～25日

この他に、気象サイエンスカフェの開催を計画しています。開催場所と回数は名古屋で2回、名古屋以外の中部支部内(北陸、長野など)で1回の計3回を計画しています。

議案 (5) 2015 年度 (平成 27 年度) 中部支部予算案

2015年度 (平成27年度) 収支予算書 (案)				
(2015年4月1日～2016年3月31日)				
				単位:円
	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	684,800	705,200	-20,400	注1
公開講座補助金	100,000	100,000	0	注2
事業収入				
公開講座参加費 (テキスト代含む)	30,000	30,000	0	注3
雑収入				
預金利子	200	200	0	
その他	0	0	0	
事業活動収入計(1)	815,000	835,400	-20,400	
II 支出の部				
事業活動支出 (事業費支出)				
支部だより	120,000	125,000	-5,000	
支部だより印刷費	50,000	50,000	0	注4
支部だより編集費	0	0	0	
支部だより発送費	70,000	75,000	-5,000	注5
ホームページ運営費	0	30,000	-30,000	
サーバー借料	0	30,000	-30,000	
公開講座開催費(シンポジウム)	410,000	300,000	110,000	
公開講座会場費	30,000	30,000	0	
公開講座運営費(印刷費含む)	300,000	200,000	100,000	注5
公開講座講師謝金・旅費	80,000	70,000	10,000	
シンポジウム参加・旅費	0	0	0	
支部研究会開催費	420,000	430,000	-10,000	注6
支部研究会会場費	30,000	30,000	0	
支部研究会運営費	50,000	50,000	0	
支部研究会講演予稿集印刷費	160,000	220,000	-60,000	
支部研究会参加旅費	180,000	130,000	50,000	
その他事業費	0	0	0	
(管理費支出)				
総会・理事会費	55,000	53,000	2,000	
総会資料印刷費(往復はがき)	22,000	20,000	2,000	
理事会開催費	3,000	3,000	0	
理事会交通費	30,000	30,000	0	
役員選挙費	0	78,000	-78,000	
選挙公報・投票用紙印刷・発送費	0	75,000	-75,000	
選挙管理委員会費	0	3,000	-3,000	
事務費	10,000	160,000	-150,000	
通信運搬費	5,000	5,000	0	
消耗品費	5,000	5,000	0	
労務費	0	0	0	
その他支出 設備費	0	150,000	-150,000	
事業活動支出計(2)	1,015,000	1,176,000	-161,000	
III 予備費				
予備費支出計(3)	8,560	6,573	1,987	
当期収支差額(A) = (1)-(2)-(3)	-208,560	-347,173		
前期繰越収支差額(B)	208,560	347,173		
次期繰越収支差額(A)+(B)	0	0		
注1:本部からの支部活動費としての本部交付金 1,200円×279名+350,000円で計上(個人会員数279名:平成27年4月現在)				
注2:本部からの夏季大学補助金				
注3:27年度実施予定で計上				
注4:業者印刷で計上				
注5:業者発送で計上				
注6:中部地区開催で計上				

平成 27 年度支部強化基金 収支予算書 (案)
(2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日)

単位:円

平成27年度支部強化基金 収支予算書(案)			単位:円
(2015年4月1日～2016年3月31日)			
	予算額	前年度予算額	増減
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	119,000	152,000	-33,000
地区研究会等への支援	50,000	50,000	0
サイエンスカフェ	69,000	102,000	0
事業活動収入計(1)	119,000	152,000	-33,000
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
地区研究会等への支援	50,000	50,000	0
交通費	40,000	40,000	0
宿泊費	10,000	10,000	0
サイエンスカフェ (3回開催)	69,000	102,000	-33,000
1) 東海地区内(2回)	36,000	36,000	0
チラシ・資料印刷	6,000	6,000	0
講師謝金	20,000	20,000	0
講師交通費	10,000	10,000	0
2) 中部地区内 (1回)	33,000	66,000	-33,000
チラシ・資料印刷	3,000	6,000	-3,000
講師謝金	10,000	20,000	-10,000
講師交通費	20,000	40,000	-20,000
事業活動支出計(2)	119,000	152,000	-33,000
III 予備費支出			
予備費支出計 (3) 本部へ返納	0	0	0
当期収支差額 (A) = (1)-(2)-(3)	0	0	0

◆ 中部支部第 21 期役員の補充

2015 年 4 月 1 日付けの人事異動により、東海地区から松本逸平理事、北陸地区から横田茂樹理事、長野・静岡地区から中川慎治理事が転出し役員を失格しました。このため日本気象学会中部支部選挙細則第 4 条の規定に従い、各地区の後任理事として東海地区は國次雅司会員、北陸地区は大久保篤会員、長野・静岡地区は高橋清利会員を第 21 期理事に推薦します。任期はいずれも 2016 年 6 月 30 日までです。

新

旧

東海地区常任理事

國次雅司 (中部航空気象台)

松本逸平 (名古屋地方気象台)

北陸地区理事	大久保篤（金沢地方気象台）	横田茂樹（富山地方気象台）
長野・静岡地区理事	高橋清利（長野地方気象台）	中川慎治（長野地方気象台）

以上の理事、幹事の補充により、現在の理事会構成メンバーは以下のとおりとなります。

東海地区常任理事・支部長	内田裕之（名古屋地方気象台）
東海地区常任理事	甲斐憲次（名古屋大学）
東海地区常任理事	多々良秀世（日本気象予報士会東海支部）
東海地区常任理事	立花義裕（三重大学）
東海地区常任理事	坪木和久（名古屋大学）
東海地区常任理事	國次雅司（中部航空地方気象台）
北陸地区理事	大久保篤（金沢地方気象台）
長野・静岡地区理事	高橋清利（長野地方気象台）
会計監査	槇野泰夫（日本気象予報士会東海支部）
幹事	西尾伊三男（名古屋地方気象台）
幹事	永尾一平（名古屋大学）

◆ 第20回公開気象講座について

公開気象講座は、気象学に関する専門的かつ最新の知識を一般の方々に分かりやすく解説することを目的に開催されてきました。また、平成25年4月、日本気象学会が公益法人化したことにより、ますます社会への情報発信が求められる状況にあります。今年度は、「ヒートアイランド（仮題）」をテーマに、8月22日（土）に名古屋大学 ES 総合館 ES ホールにおいて開催する予定です。講師は、藤部文昭先生（日本の都市気候）、神田 学先生（ヒートアイランドのメカニズム）、飯塚 悟先生（名古屋のヒートアイランド（仮題））の3名の方をお願いしています。詳細が決定次第、支部ホームページおよび案内チラシにより皆様にお知らせします。

◆ 平成27年度支部研究会について

日本気象学会の全国大会では、1件あたりの発表時間が限られています。そこで、支部研究会は、各講演の発表時間を約20分程度確保することにより、会員の皆様の活発な議論を通して会員間の情報交換や交流の場にしたいと考えています。今年度は、11月下旬に静岡市内で開催する予定です。具体的な案内は7月下旬～8月上旬にお知らせします。

企画などの問合せ先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院環境学研究科

永尾一平

電話：052-789-3483

FAX：052-789-3436

E-mail：i.nagao@nagoya-u.jp

